



市内のイベントやまちの話題をお届けします。
身近でホットな情報をお寄せください。
情報政策課広報広聴係
☎ 0824-73-1159 / Fax0824-72-3322

Report 3 楽しくプレーし健康づくり 庄原市健康づくりグラウンドゴルフ大会

第8回庄原市健康づくりグラウンドゴルフ大会が10月26日、田総の里グラウンドゴルフ場で開催され、市内各地域の予選を勝ち抜いた30チーム総勢150人が参加しました。



参加者は各グループに分かれ、24ホールをプレー。皆さん予選を勝ち抜いてきてただけあって、ハイレベルな試合展開となりましたが、終始楽しくプレーしていました。

当日の成績は次のとおりです。

●個人戦（敬称略） ▲ナイスショットが連発

●団体戦

順位	男性の部	女性の部
優勝	東城男性B	庄原女性A
準優勝	庄原男性C	庄原女性D
第3位	西城男性A	庄原女性C

順位	男性の部	女性の部
優勝	木村 逸則（東城男性B）	柿本 二葉（庄原女性A）
準優勝	佐々木 満（東城男性C）	瀬尾一二三（庄原女性D）
第3位	宮脇 達郎（庄原男性D）	倉谷美子（庄原女性A）
第4位	藤川 光明（庄原男性C）	花田 弘子（東城女性B）
第5位	平田 長則（庄原男性C）	藤仲 明子（庄原女性C）

Report 4 七塚原高原に子どもの笑い声が響く 第13回こどもまつり



▲山の斜面を利用したダンボール滑り台

第13回こどもまつりが10月27日、高原の家七塚をメイン会場に開催され、約3,100人の来場者でにぎわいました。

当日は爽やかな晴天に恵まれ、板橋小学校6年生による板橋一心太鼓の演奏で幕を開けました。

会場には消防はしご車の試乗や牛の乳搾りができる体験コーナーが設けられ、山の遊び場ではダンボール滑り台やダンボール迷路が作られるなど、秋の七塚原高原に、時を忘れて遊ぶ子どもたちの笑い声が響きました。

また、子育てを応援する市内の団体が実行委員会を組織し、約150人がボランティアの運営スタッフとして参加。地域ぐるみでたくさんのスタッフが力を合わせ、「地域のみんなで一緒に子育てをしよう」のメッセージを来場者に向け発信しました。

Report 5 「火の用心！」元気な声を響かせ防災誓う 比和幼年消防きららクラブが防火パレード

比和幼年消防きららクラブ防火パレードが10月23日、比和町内で開催され、比和保育所の園児19人が参加しました。

参加した園児は隊列を組み、拍子木を打ち鳴らしながら「火の用心！！ぜったいに火遊びはしません！！」と、防火を呼びかけながら町内を行進しました。沿道には園児のかわいい声を聞きつけた地域住民が駆けつけ、園児が歌や踊りを披露すると、拍手や歓声を送っていました。

比和支所に到着した園児は「火の側では騒ぎません」「子どもはマッチやライターをかまいません」「約束を守って遊びます」という3つの防火の誓いを大きな声で唱え、防火の意識をしっかりと心に刻んでいました。



▲火の用心！と呼びかけながらパレードする園児

Report 1 粋でいなせな「お・も・て・な・し」 東城まちなみぶらり散歩ギャラリー

10月26日から11月5日までの11日間、街道東城路（東城町市街地）で「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」が開催されました。

城下町ならではの風情と人情が残るまちなみ約600mが丸ごとギャラリーとなり、各家のお宝をはじめ絵画や手作り品などが並びました。

期間中は、伝統行事「お通り」が開催されたほか、「南京玉すだれ」や東城保育所の「わんぱくお通り隊」がまちを練り歩き、大勢の観光客でにぎわいました。



▲来客をおもてなし(左)。来訪者へ案内をする東城応援隊(右)

広島市から初めて訪れた亀澤学さん悦子さんご夫妻は「お店の方の対応も高校生ボランティアもとても親切で、おもてなしの心がすばらしい。まちの雰囲気もいいので、今度はゆっくりと訪れてみたい」と声を弾ませていました。



▲お通り

Report 2 3世代一緒に交通安全意識を高める 地域みんなの交通安全教室 in しょうばら

児童・保護者・高齢者の3世代が交流しながら交通安全について学ぶ「地域みんなの交通安全教室 in しょうばら」が11月1日、庄原小学校で行われました。

庄原小学校鼓笛隊や広島県警察音楽隊による盛大なオープニングセレモニーでスタート。交通安全〇×クイズでは400人を超える参加者が挑戦し、楽しく交際ルールについて学びました。

シミュレーション機器を用いた体験コーナーでは、交通安全を守る意識の大切さを身をもって体感。酒酔いゴーグルを体験した参加者は「普通に歩くこともできない。この状態で運転すると思うと恐ろしい」と話し、シートベルトコンビンサーで車の衝突時の衝撃を体験した児童は「時速5*の速さでも怖かった。大人になったら運転に気をつけたい」と話していました。



▲シートベルトコンビンサー体験に衝撃を受ける児童



▲酒酔いゴーグルを体験する参加者



Report 9

庄原の味覚・魅力をとことん満喫 西城ふるさと祭&庄原みのりの祭典'21

「いのち・みどり・未来」をテーマに第32回西城ふるさと祭・庄原みのりの祭典'21が10月20日、西城球技場で開催され、盛りだくさんのステージイベントと多くの出店にぎわいました。

ステージでは、西城川子ども太鼓、西城保育所園児のダンスなど地元の団体が日頃身に付けた技を披露。仮面ライダー鎧武/ガムショーは子どもたちに大人気で、終了後の撮影会では親子連れの長蛇の列ができました。その後の演歌歌手の牧村三枝子歌謡ショーでは、開始前にステージ前が人であふれる人気で、会場



▲牧村三枝子歌謡ショー



▲庄原の美味しいものであふれる出店ブース

は盛り上がりました。

出店コーナーでは地元の産品が並び、来場者は西城産のヒバゴンネギを使用した加工品や、ゴギの塩焼きなど、庄原ならではの秋の味覚を堪能。市内外の産品・加工品も多く並び、出店者同士の交流・相互発信の場にもなりました。

西城ふるさと祭実行委員長の是田宜夫さんは「1日開催にしたことで、どのようにイベントを組むのが特に悩んだ。大変なことがたくさんあったが期待通りの盛況となった。これもご協力いただいた皆さんのおかげです」と感謝していました。

Report 10

命を守る避難行動を確認 川手上自主防災本部防災訓練



▲田中本部長の説明に耳を傾ける参加者

川手町の川手上自主防災本部は10月6日、ゲリラ豪雨による土砂災害を想定した防災訓練を実施し、川手上自治会の72人が参加しました。

訓練では、土砂災害が起きる前兆現象を目撃した住民から連絡を受けた防災本部が避難を決定。係員が拡声器で地域に避難を呼びかけるとともに、各世帯に整備されている告知システム「エアートーク」の一斉放送で避難を呼びかけました。住民は係員の誘導のもと市総合体育館へ歩いて避難。寝たきりの高齢者の避難を想定した担架による避難支援の確認も行いました。

また、炊き出し訓練では、市保健福祉センターの調理実習室でカレーを調理し、避難者全員の食事の準備と配膳を行いました。

総合体育館に集まった参加者は、田中強本部長から訓練で想定した土砂災害や浸水被害、降雨状況や西城川の水位などの情報収集の仕方について説明を受け、真剣に耳を傾けていました。

田中本部長は「自主防災本部を立ち上げてから初めての訓練だったが、いざというときを想定して行動を体験することが大切。これからの取り組みにつなげていきたい」と話していました。



▲炊き出し訓練の様子

Report 6

日頃の活動が高く評価 北自治振興区が県知事表彰受章

北自治振興区が、平成25年度広島県知事表彰〔消防関係功労者（自主防災組織の部）〕を受章しました。

自治振興区発足以来、自主防災活動に取り組んできた同自治振興区は、平成22年の庄原ゲリラ豪雨災害での迅速な被災者支援などの対応や、定期的な講習会の実施、視察の受け入れなど、これまでの取り組みが評価され今回の受章となりました。

11月7日、広島県庁での授章式に臨んだ大迫孝区長は「今回の栄誉を区民全員の励みとして深く受け止め、より一層安心で安全な地域づくりにまい進するとともに、自主防災意識の高揚を図り、みんなの力でできる防災対策に取り組み、『北地区に住んでよかった』と言われるまちづくりを目指して頑張りたい」と決意を新たにしていました。



▲城納一昭副知事から表彰を受ける大迫区長（左）

Report 7

元気と笑いで健康寿命を延ばそう 口和健康福祉祭わいわいフェスタ

2年に1度開催される「口和健康福祉祭わいわいフェスタ」が10月14日、口和自治振興センターで



▲フライングディスク

開催され、約500人が来場しました。

今年で10回を数えるこのイベントは、モーモー祭がない年に行われる恒例イベントで、今年は「笑って！元気に！庄原いちばん」をテーマに開催されました。

ステージでは、地元のグループ・団体がダンスや神楽、フラダンスなどを披露し、会場を盛り上げました。会場内には身体測定やマッサージが受けられるコーナーが設けられ、展示ブースには地域の方が作成した手芸品などが数多く展示されました。

また会場の外では第4回口和フライングディスク大会も同時開催。各自治会からそれぞれ5人1組、計8チームが参加し、5m先に設置された関門にディスクを投げ、その通過枚数を競いました。

参加者は「こうした催しに参加することで、少しでも健康寿命を延ばしていければ」と話していました。

Report 8

体験談から心の大切さを学ぶ ヒューマンフェスタ 2013in 総領

人権について考えるイベント「ヒューマンフェスタ 2013in 総領」が11月3日、総領自治振興センターで開催され、およそ100人が会場を訪れました。

午前の部は、教育サポーターの仲島正教さんが『あーよかったなあなたがいて～「優しさ」という温かい貯金～』と題し講演。手作りの絵を使いながら、自身の教師生活で経験した具体的な事例を交えた話で来場者を引き込んでいました。

仲島さんは「差別をなくすためには“知る心”“怒る心”“つながりと感動の心”の3つの心が必要。中でもつながりと感動の心は教えてもらえることが少ないので特に大切だ」と力を込めていました。

午後からは、子ども神楽などのステージ発表や自治会などによるバザーも開かれました。



▲講演する仲島さん